

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【公開番号】特開 2002-258152(P2002-258152A)
 【公開日】平成 14 年 9 月 11 日 (2002.9.11)
 【出願番号】特願 2001-60641(P2001-60641)

【国際特許分類】

G 0 2 B 13/00 (2006.01)
G 0 2 B 13/08 (2006.01)
G 0 2 B 13/18 (2006.01)
G 0 2 B 26/10 (2006.01)
B 4 1 J 2/44 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 13/00
 G 0 2 B 13/08
 G 0 2 B 13/18
 G 0 2 B 26/10 E
 B 4 1 J 3/00 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 3 月 30 日 (2006.3.30)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 7】

特に、主走査方向は、光偏向器による偏向面と略平行光であるため、

$$0.2/K \Delta C \times (n-1) \times \lambda \times (f/w)^2 \quad 2$$
 となり、この条件を満足する ΔC であれば、この光走査レンズを用いた光走査装置および画像形成装置によって良好な出力画像かつ実使用上望ましいレンズを提供することができる。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 3】

同様に主走査方向は、光偏向器から略平行光であるため、焦点距離 ビームウエスト位置変動とみなすことができる。

$$q _ P V \times (n-1) \times \lambda \times (f/wd)^2 \quad 1$$

また、実使用上、望ましくは以下の範囲とする。

$$0.1/K \quad q _ P V \times (n-1) \times \lambda \times (S' / wd)^2 \quad 1$$

なお、曲面形状 $z(x)$ 、曲率 $c(x)$ および平均曲率 $q(x)$ と、 ΔC 及び $q _ P V$ の関係を図 2 に示す。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】図面
 【補正対象項目名】図 7
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7】

